

Follow up

会長の時間 13－当クラブの新型コロナ対策現状

本日は堺市立総合医療センターの森田先生から新型コロナの診療のお話を伺います。当クラブ運営も大変悩み悩みの毎回運営で、本日貴重なお話を賜れ、有難い事と感謝申し上げます。

さて先週例会後、10 月度の理事会が開催されました。詳細は、週報に掲載していますが、3 の親睦行事の件と 6 その他の台湾での国際大会に関する件、両方とも実は本日の卓話に関わる案件でした。先週例会前に親睦委員会が開催され、わたくしも奥中幹事も同席させて頂き、一つにはこのコロナ禍で残余の期間の親睦行事をどうするか、毎回恒例になっている新入会員の歓迎会をどうするかが主テーマでした。

そして結論は、やはり夜の会食は未だ危険であるし、バスでの集団での移動も難しい、会でのアルコールの出し方にもよほどの注意が必要との事でほぼ全員一致でした。それでも敢えてがんばって企画するとしても、新入会員歓迎会を有志 2~3 グループに分けて行えるかどうか、親睦行事として年内 1 回、下期に 1 回か 2 回、感染防止できる形での行事を何とか検討してみたいとの結論で、この内容をそのまま理事会に報告し、理事役員全員同意見でした。又、来年 6 月には台湾で国際大会が予定されていますが、現時点で台湾の出入国も見通せません。まだまだこれから冬をまたいで今後情勢がどのように変わるか予断も許しません。そこで仮に無事開催の情勢となった時、エアーやホテルの確保に困る事があったとしても、今から参加の方向で準備する事は不可能、無意味との意見で一致しました。神吉国際奉仕理事には引き続き情報収集や情勢を注視頂くとして、現段階では国際大会参加の準備には着手しないとの結論になった次第です。

と言う訳で理事会では、今年度開始前の 6 月の準備理事会から数え 5 回、毎回コロナ対応はこれで良いか、できない事できる事は何かを確認検証致しております。幸い今期理事会にはドクターが 2 名おられますので、その医学的視点からもアドヴァイスを頂けていますし、各理事会メンバーのお会社内の対応やメルクマールも十分参考にさせて頂いています。

そこでもう一度当クラブの対応を確認しますと、まず期初の 7 月最初から HP 冒頭に当クラブのコロナ対応を明示するタブを作り、そこに示したオペレーションを毎回確実に行っています。ホテルのご協力も得て、換気を確保すべく扉も開けたままのオペレーションですし、1 卓あたりの着席人数も減りました。マスクの徹底も有難い事に会員各位万全ですし、登壇時マイク対応にも最初はマイクカバー、不便なので次にサリバガード、それでも不十分と今回演台にアクリルのパーテーションをクラブで用意し、スピーカーからのウイルス飛散対策を施しました。

以上に加え、先ほど申し上げました様に夜の会食を伴う会は当面しない、濃厚接触の定義に当たる状況は避ける、ここらあたりが現下我々でなせる限界かと思えます。

そして冬場に向かい仮にも 3 月 4 月の様な、あるいは新たな危険な状況に至れば、その時はいよいよ例会休止の判断の検討に入らざるを得ないと思えます。

以上、本日の卓話に因み、目下当クラブが取り組んでいるコロナ対策のおさらいでした。本日はこれにて、おやかましゅうございました。

2020 年 10 月 8 日第十三例会 会長の時間にて 東 野 裕 暢